

## 編集後記

株式市場におけるいわゆるアノマリーの研究は古くから行われ、海外を中心に膨大な実証研究が蓄積されてきた。バリューやモメンタム、低ボラティリティといった現象も、かつてはアノマリーとして注目されたが、現在ではファクターとして整理され、資産価格理論や行動ファイナンスの観点から一定の説明が試みられている。一方で、報告された多くのアノマリーについては、データマイニングや小型株効果、多重検定の影響によるものではないかとの批判も根強く、発見後に収益性

が低下するとの指摘もある。近年の研究は、単なる現象の発見・列挙から、その頑健性や再現性、さらには取引コスト控除後の実務的有効性を厳格に見極める段階へと移行している。今月号の特集では、こうした国際的な議論の進展と市場構造の変化を踏まえ、現代の市場環境のもとでこれらの現象をどのように捉え、投資実務にいかにも位置づけるべきかについて、多面的な検討を試みている。読者にとって、本特集が市場の見方を改めて問い直す契機となれば幸いである。  
(菅原周一)

## 読者の声

今後取り上げてほしいテーマ・執筆者等、当誌のより充実した企画・編集のため、ご感想・ご意見・ご要望等をお寄せください（証券アナリストジャーナル編集担当あて）。

**SAAJ** 公益社団法人日本証券アナリスト協会へのご意見・お問い合わせ先ご案内（E-mail）

◇総務・会員	member@saa.or.jp	◇調査・出版	
◇受講・受験		・ジャーナル編集	journal@saa.or.jp …当誌ご購入、ご投稿、広告掲載など
・CMA、CCMA	education@saa.or.jp	・セミナー・講演会	seminar@saa.or.jp
・CIIA（国際資格試験）	ciia@saa.or.jp	・刊行物	tosho@saa.or.jp
・PB受験手続き	p-pb@saa.or.jp	◇情報事業	
・基礎講座	kiso@saa.or.jp	・IRミーティング	k-kaisai@saa.or.jp
・資産形成コンサルタント	abc@saa.or.jp	・IRセミナー	i-kaisai@saa.or.jp
・アナリスト協会へのご意見	jouho@saa.or.jp	◇大阪事務所	s-osaka@saa.or.jp
URL <a href="https://www.saa.or.jp/">https://www.saa.or.jp/</a>			

証券アナリストジャーナル、国際公認投資アナリスト、SAAJ、CMA、CCMA、ACIIA、ABCは公益社団法人日本証券アナリスト協会の登録商標です。  
また、CIIAは The Association of Certified International Investment Analysts の登録商標です。

証券アナリストジャーナル® 2026年6月号 第64巻第6号 2026年6月1日発行

本誌は会員への継続学習・情報提供のために発行しており、発行費用は会費により賄われています。  
本誌掲載記事の無断転載・複製を禁じます。

発行所 公益社団法人 日本証券アナリスト協会 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1

編集人 加藤 康之

発行人 神津 多可思

印刷所 株式会社 太平社 東京都墨田区両国2-4-8